

団体名

片平学区子育て支援ネットワーク連絡会

団体概要

片平学区にある、子育て支援団体や子ども・子育てに関わる地域団体等で構成する団体である。

よろしくお祈りします



当連絡会に所属する団体同士の連携を深め、情報交換をすると共に、学区に居住する子どもたち（0～18歳を対照）の健全な育成の支援と、家庭を含む子育て環境の整備・拡充を目的として設立した。会の活動を通して、子育て支援の観点から、地域コミュニティの活性化を目指している。

活動名：片平学区・多世代交流の場づくり

当団体は、片平学区内の子ども・子育てに関わる団体、約30名の会員で構成されています。

1 活動の目的

片平学区内にある子ども・子育ての支援団体が連携し、
・子どもたちの健全な育成のための活動を行う
・活動を通じて、多世代交流を行い、地域コミュニティの活性化を図る。



2 活動内容

■ 第1回総会&ワークショップ

日時：令和2年10月27日(火)15：00～17：00
場所：かたひらふれあいセンター 研修室
参加者：会員 19名



会員同士が顔を合わせ、それぞれの団体照会をすると共に、今年度の活動予定と来年度の活動方針について報告しました。

グループにわかれて、「強みを活かしてできることを持ち寄ろう！」をテーマに今後取り組みたい課題と活動について意見を出し合いました。

☆ワークショップで出された意見

- ・子どもたちと大人が関わる機会をつくる
- ・千句塚公園をプレパークにしよう！
- ・子ども会の活動をバックアップしよう
- ・情報交換や学習会をしたい

■ クリスマス☆スタンプラリー

日時：令和2年12月5日(土)10：00～11：30
場所：かたひらかたろう、千句塚公園、みんなのかりつけ訪問看護ステーション、北浦公会堂、いっぷく茶屋、成海神社
参加者：約120名

参加者が1カ所に密にならないように、ルートを分けたり時間差で出発するなどの配慮をし、片平学区内の5カ所のチェックポイントを巡るスタンプラリーを開催しました。老人会やボランティアなど、地域の方々にも、子どもたちの見守り役として参加され、子どもと大人が出会う多世代交流の場になりました。



■ 講演会「チャイルドラインから見える子どもの現状」

日時：令和3年1月31日(日)10：00～12：00
場所：緑生涯学習センター 視聴覚室
講師：チャイルドラインあいち 高橋 弘恵 さん



チャイルドラインあいち専務理事の高橋弘恵さんを迎え、相談電話を通して見えてくる子供の現状と変化、そして大人として、親として、子どもたちとのよりよいコミュニケーションのあり方をお話いただきました。「『あなたのことを気にしている』と伝え続けることが大切」という高橋さんの熱いメッセージが心に残りました。

会場の聴講者を極力少なくしたため、講演の様子を録画し、会員限定でYouTube配信しました。※コロナ禍における新しい試みです！

■ 子どもの健康学習会「コロナ感染症を学ぼう！」

日時：令和3年3月8日(月)16：00～16：30
場所：片平学童保育所 たけのこ
講師：みんなのかかりつけ訪問看護ステーション緑（板谷所長、廣瀬さん）



今後は、子どもを対象とした「認知症ケア講座」を開催する予定です！



学童保育所たけのこの子どもたちを対象に、地域の訪問看護事業所の方から、コロナ感染症予防についてのお話をいただきました。「手洗いは何秒くらいしたらいいか？」「マスクの正しい付け方は？」等、クイズが出題されたので、子どもたちは楽しみながらも集中して聞いていました。質問コーナーでは「予防接種って安全？」といった質問が積極的になされました。



3 活動のふりかえり



■ 目標の達成度：達成できた!!

■ 工夫した点

○コロナ禍で活動は制限されていたが、対策を十分に取り、計画していた活動は、ほぼ予定通り開催することができた。

○1つの学区を単位とした小地域であるため、イベントの案内等は、できるだけメールや電話ではなく、直接事業所を訪問して、手渡すようにした。気軽に話ができる関係ができた。

○総会とワークショップを同日に開催したことで、会員同士の関係性を築くことができた。今後もさらなる深化を目指していく。

○クリスマスのイベントを「スタンプラリー」にして、密集を避け、子どもたちが地域を巡るという方法にしたことで、地域の大人との出会いの場になった。

○学区連絡協議会をはじめ、地域の老人会やボランティア組織から、温かい協力を得ることができた。

○講演会をYouTube配信した。



■ 今後の課題

○イベントの告知や準備が、間際になってしまうことが多く、また、準備の作業や当日の運営が、一部の会員に負担が偏ってしまったので、今後は準備期間を多くとり、役割分担を明確にしていく。

○学区連絡協議会主催の行事にもできるだけ協力し、地域コミュニティの活動に若い世代が関心を持てるようにはたらきかけていく。（2021年度は、子どもと親を対象とした「防災学習会」を検討中）